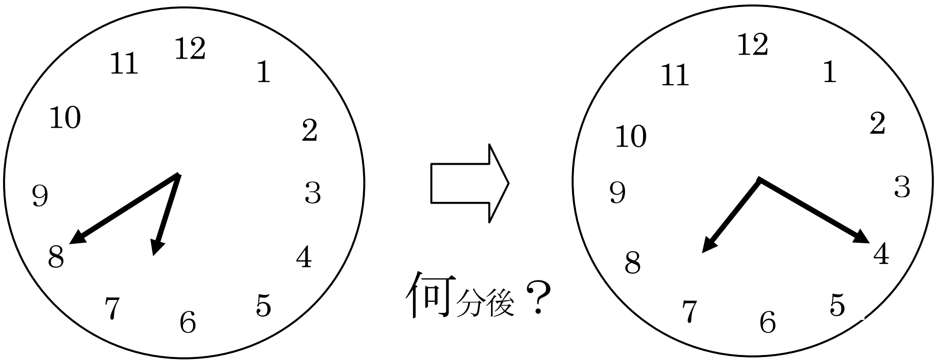
数字に親しみましょう（１）

時計をつかって

　ご家庭の壁に掛けてある時計は、アナログ式ですか？それともデジタル式ですか？学校の教室に掛けてある時計は、長針と短針がクルクルと回るアナログ式の時計が、多いようです。どうしてでしょう？

　ある日の夕方、アナログ式の時計を見ながらの会話です・・・。

かずお「ねえ、お母さん、テレビを見てもいい？」
お母さん「そうねえ、７時２０分から夕御飯にするから、それまでね。」
かずお「え～と、４０分間だね。うん、わかった。」



６時４０分　　　　　　　７時２０分

お父さん「かずお、えらいな～。どうやって、計算したのかな？」
かずお「長い方の針は、５分で数字と数字の間を進むよね。８から４までは、その間が８つ分あるから、５×８＝４０で、４０分になったよ。」

　アナログ式の時計は、デジタル式のものに比べ、時間の計算が容易だから、時間の感覚も早く身に付きます。ご家庭での会話に時間の計算などを入れてあげると、思考力も高まります。時計をつかって、数字に親しむことが、算数の基礎をつくります。

　時計を使ったクイズを出し合うのもいいのではないでしょうか。正解のときには、しっかりとほめてください。会話文のように言葉で説明できたときには、よりほめてください。素敵な問題が作れたときには、びっくりしてあげてください。

　ご家庭の会話の中で、楽しみながら、お父さん、お母さんと一緒に、算数を学ぶ。きっと、お子様は、算数が好きになるはずです。

学力向上室